

## 再評価結果（令和7年度事業継続箇所）

担当課：都市計画課

担当課長名：山下 賢志

公園名	南部健康運動公園	種別	運動公園	全体計画面積	70.0ha	
事業の概要						
<p>南部健康運動公園は、県南地域の活性化に加え、子供からお年寄りまでが、スポーツ・レクリエーションに親しみながら、気軽に健康づくりができることを目的として整備を進めている。</p> <p>平成19年度に野球場の供用以降、遊具広場やテニスコート、陸上競技場などの施設を順次供用している。</p>						
事業採択年度	平成12年度	都市計画決定（変更）年度	平成11年度(H12.3.31)			
用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成12年度			
1. 事業の必要性等						
事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	1) 利用圏内の市街化状況、人口推移、社会経済情勢の特段の変化			有	無	
	公園計画区域及び周辺の自然的環境の特段の変化			有	無	
	重大な影響のある上位計画の変更			有	無	
	重大な影響のある周辺の類似施設の整備状況の変化			有	無	
	重大な影響のある関連する他事業等の進捗状況の変化			有	無	
内容						
—						
事業の 投資効果	2) 費用対効果分析結果		B / C ( 1.74 )			
	総便益 (B)		( 641.1 ) 億円			
	便益の内訳		直接利用価値 ( 364.3 ) 億円			
			間接利用価値(環境) ( 113.6 ) 億円			
			間接利用価値(防災) ( 163.2 ) 億円			
	総費用 (C)		( 367.8 ) 億円			
	感度分析結果					
			B / C		B / C	
	公園利用者数及び世帯数		+10%	( 1.80 )	-10%	( 1.68 )
	残事業費		+10%	( 1.74 )	-10%	( 1.75 )
残事業期間		+10%	( 1.74 )	-10%	( 1.74 )	
残事業の投資効率性						
<p>継続した場合の便益 641.1 億円 - 中止した場合の便益※1 621.9 億円 = 0.95</p> <p>継続した場合の費用 367.8 億円 - 中止した場合の費用※2 347.7 億円</p> <p>※1 「中止した場合の便益」では供用済施設により発生している便益の現在価値を計上</p> <p>※2 「中止した場合の費用」では既投資費用+環境保全・安全確保・維持管理に今後必要な費用を加えて、現在価値化した費用を計上 (参考) 残事業B/C=1.56(割引率2%), 2.13(1%)</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
アウトドアフィールドについて、関係市町や地元から多目的に利用可能なオープンスペースの整備を求められている。						
事業の 進捗状況	計画全体事業費	137.0 億円	投資事業費	122 億円(進捗率 89.1%)		
	(うち用地費)	31.6 億円	(うち用地費)	31.6 億円(進捗率 100.0%)		
	用地確保面積	70.0 ha	既供用	23.8 ha	供用	
	(用地確保率100%)		区域面積	(供用面積率34%)	開始年度	H19
未供用の場合、その理由						
—						
2. 事業の進捗の見込み						
今後の事業の進捗の予定、目処、及び進捗の見直し						
・アーチェリー場については、引き続き関係団体と意見調整を継続する。アウトドアフィールドについては、多目的に利用可能なオープンスペースとして、令和12年度の完成を目指す。						
3. コスト縮減や代替案立案等の可能性						
コスト縮減の検討・実施状況	施工時において、再生建設資材の活用や建設発生土の再利用に取り組んでいる。また、維持管理時に発生する剪定枝等の堆肥化を積極的に行い、リサイクルを推進する。					
代替案の検討状況	—					